

国立大学法人京都大学有期雇用教職員就業規則新旧対照表

改正前	改正後
<p>(前 略)</p> <p>(労働条件の明示)</p> <p>第9条 有期雇用教職員の採用に当たっては、採用予定者に対し、次の各号に掲げる事項を明示する。</p> <p>(1) 給与に関する事項</p> <p>(2) 就業の場所及び従事する業務に関する事項</p> <p>(3) 契約期間及び更新(更新する場合の基準を含む。)に関する事項</p> <p>(4) 始業及び終業の時刻、所定勤務時間を超える労働の有無、休憩時間、休日並びに休暇に関する事項</p> <p>(5) 退職に関する事項(解雇の事由を含む。)</p> <p><u>(6) 年度一時金の定めが適用される有期雇用教職員の範囲、年度一時金の決定、計算及び支払いの方法並びに年度一時金の支払の時期に関する事項</u></p> <p><u>(7) 安全及び衛生に関する事項</u></p> <p><u>(8) 職業訓練に関する事項</u></p> <p><u>(9) 災害補償及び業務外の傷病扶助に関する事項</u></p> <p><u>(10) 表彰及び懲戒に関する事項</u></p> <p>2 明示は、前項第1号から第5号までに掲げるものについては文書を交付して、その他については口頭で行う。</p> <p>(中 略)</p> <p>(給与の種類)</p> <p>第22条 有期雇用教職員の給与は、基本給、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、特勤手当、超過勤務手当、休日給、夜勤手当、宿日直手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当及び特別報奨金とする。</p> <p>(中 略)</p> <p>(寒冷地手当)</p> <p>第33条 (略)</p>	<p>(労働条件の明示)</p> <p>第9条</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p> <p><u>(6) 労働条件等に関する相談窓口</u></p> <p><u>(7)</u></p> <p>(8)</p> <p>(9)</p> <p><u>(10)</u></p> <p><u>(11)</u></p> <p>2 明示は、前項第1号から第6号までに掲げるものについては文書を交付して、その他については口頭で行う。</p> <p>(給与の種類)</p> <p>第22条 有期雇用教職員の給与は、基本給、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、特勤手当、超過勤務手当、休日給、夜勤手当、宿日直手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当、<u>臨床研修奨励手当</u>及び特別報奨金とする。</p> <p>(寒冷地手当)</p> <p>第33条 (同 左)</p> <p><u>(臨床研修奨励手当)</u></p> <p><u>第33条の2 臨床研修奨励手当は、医員(研修医)が臨床研修に従事した場合に支給する。</u></p> <p><u>2 前項の手当の月額は、80,000円とする。</u></p> <p><u>3 前2項の規定にかかわらず、月の1日から末日までの期間の全日数にわたって勤務しなかった場合(第72条及び第73条に規定する有期雇用教職員の業務災害及び有期雇用教職員の通勤途上における災害により、勤務しなかった場合を除く。)は、臨床研修奨励手当は支給しない。</u></p> <p><u>4 臨床研修奨励手当には、第30条に規定する超過勤務手当及び休日給(以下「超過勤務手当等」という。)を含むものとする。ただし、一の給与期間における超過勤務手当等の額が臨床研修奨励手当の額</u></p>

改 正 前	改 正 後
<p>(特別報奨金) 第33条の<u>2</u> (略) (後 略)</p>	<p><u>を超える場合は、その超える額について超過勤務手当等を支給する。</u> (特別報奨金) 第33条の<u>3</u> (同 左)</p> <p>附 則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。</p>